

# 日興ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

(為替ヘッジあり / 年4回決算型) / (為替ヘッジなし / 年4回決算型)

追加型投信 / 海外 / 株式

BLACKROCK®

投資信託説明書(交付目論見書) 2018年11月17日

※本書は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。



■日興ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) / (為替ヘッジあり / 年4回決算型) / (為替ヘッジなし / 年4回決算型) (以下「当ファンド」または「ファンド」といいます。また、各々を「各ファンド」、「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」、「為替ヘッジあり / 年4回決算型」または「為替ヘッジなし / 年4回決算型」という場合があります。)の募集については、委託会社は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第5条の規定により有価証券届出書を2018年11月16日に関東財務局長に提出しており、2018年11月17日にその届出の効力が生じております。

■当ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)については、委託会社のホームページにて閲覧いただけます。また、投資信託説明書(請求目論見書)は、ご請求に応じて販売会社を通じて交付いたします。なお、ご請求いただいた場合には、その旨をご自身で記録をしておいてください。

■当ファンドの投資信託約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に添付されております。

■商品内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に受益者の意向を確認いたします。

■投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されております。

ファンド名	商品分類			属性区分				
	単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
為替ヘッジあり 為替ヘッジなし	追加型 投信	海外	株式	その他資産 (投資信託証券)	年2回	グローバル (日本を含む)	ファミリー ファンド	<為替ヘッジあり>あり (フルヘッジ) <為替ヘッジなし>なし
為替ヘッジあり / 年4回決算型 為替ヘッジなし / 年4回決算型					年4回			

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

※商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)にてご覧いただけます。

## 委託会社(ファンドの運用の指図を行なう者)

### ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号

設立年月日: 1988年3月11日 資本金: 31億2,000万円 運用する投資信託財産の合計純資産総額: 7兆930億円(2018年8月31日現在)

<当ファンドの詳細情報の照会先>

当ファンドの詳細情報については、以下にお問い合わせください。

電話番号: 03-6703-4300(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス: [www.blackrock.com/jp/](http://www.blackrock.com/jp/)

## 受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行なう者)

### 三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

## ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

この投資信託は、信託財産の成長を目標に運用を行ないます。

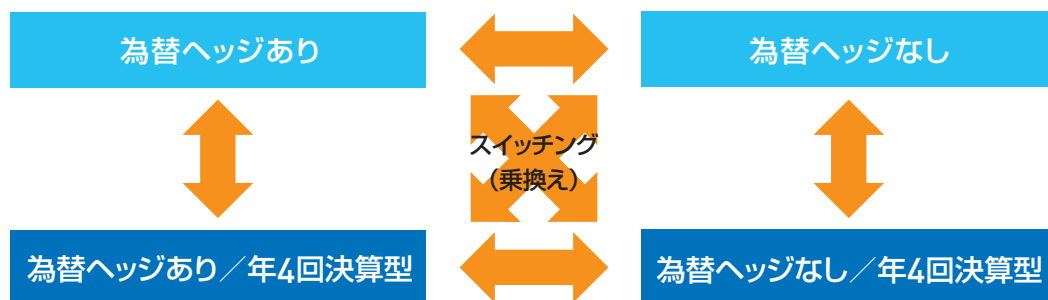
### ファンドの特色

#### 1 世界のヘルスサイエンス関連企業の株式を主要投資対象として信託財産の成長を目標に運用を行ないます。

- ヘルスサイエンス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界のヘルスサイエンス関連企業(医薬品、バイオテクノロジー、医療機器・用品、ヘルスケアサービス等)の株式に投資する投資信託証券を実質的な主要投資対象ファンドとします。副次的な投資対象として、短期債券等に投資する投資信託証券にも投資を行ないます。通常、実質的な主要投資対象ファンドへの投資割合を高位に保ちます。

※各投資信託証券への投資割合は、原則として市況動向および各投資信託証券の収益性等を勘案して委託会社が決定します。

#### 2 スイッチング可能な4ファンドがあります。



※「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」、「為替ヘッジあり/年4回決算型」または「為替ヘッジなし/年4回決算型」間で無手数料でスイッチング(乗換え)が可能です。ただし、換金時に係る税金が差し引かれます。

#### ■ 為替ヘッジについて

為替ヘッジあり	実質外貨建資産については、為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。(ヘッジ対象通貨の金利が円金利より高い場合、ヘッジコストがかかります。)
為替ヘッジあり/年4回決算型	
為替ヘッジなし	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受け基準価額は変動します。
為替ヘッジなし/年4回決算型	

#### ■ 決算頻度について

為替ヘッジあり	原則として、年2回の毎決算時において収益分配方針に基づき、分配します。
為替ヘッジなし	
為替ヘッジあり/年4回決算型	原則として、年4回の毎決算時において収益分配方針に基づき、分配します。(決算日の基準価額が1万円(1万口当り)を超えている場合には、1万円を超える部分について、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。)
為替ヘッジなし/年4回決算型	

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。運用状況によっては、分配を行わない場合もあります。

### 3

## 世界最大級の運用会社であるブラックロックのヘルスサイエンスチームが運用を行ないます。

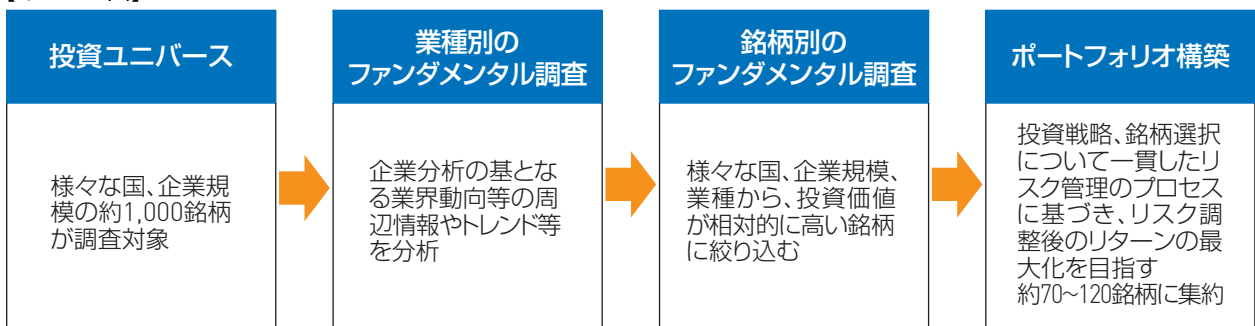
- 当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドは、ブラックロック・グループのヘルスサイエンスチームによって運用されています。当チームは、専門知識を活かして調査・運用を行ないます。

※実質的な主要投資対象ファンドおよびその運用チームは変更となる場合があります。

### 運用プロセス (実質的な主要投資対象ファンド)

- 運用チームは、主に4つの業種グループを継続的に調査
  - ①医薬品
  - ②バイオテクノロジー
  - ③医療機器・用品
  - ④ヘルスケアサービス
- 各業種グループについて、5つの基準で評価
  - ①業界構造および業界動向
  - ②政治・規制環境
  - ③業界を成長させる要因
  - ④収益率の動向
  - ⑤株価バリュエーション
- 業界分析の際には以下の情報・方法で分析
  - 業界のファンダメンタル・データの分析、企業(経営陣等)訪問、業界エキスパートとのインタビュー

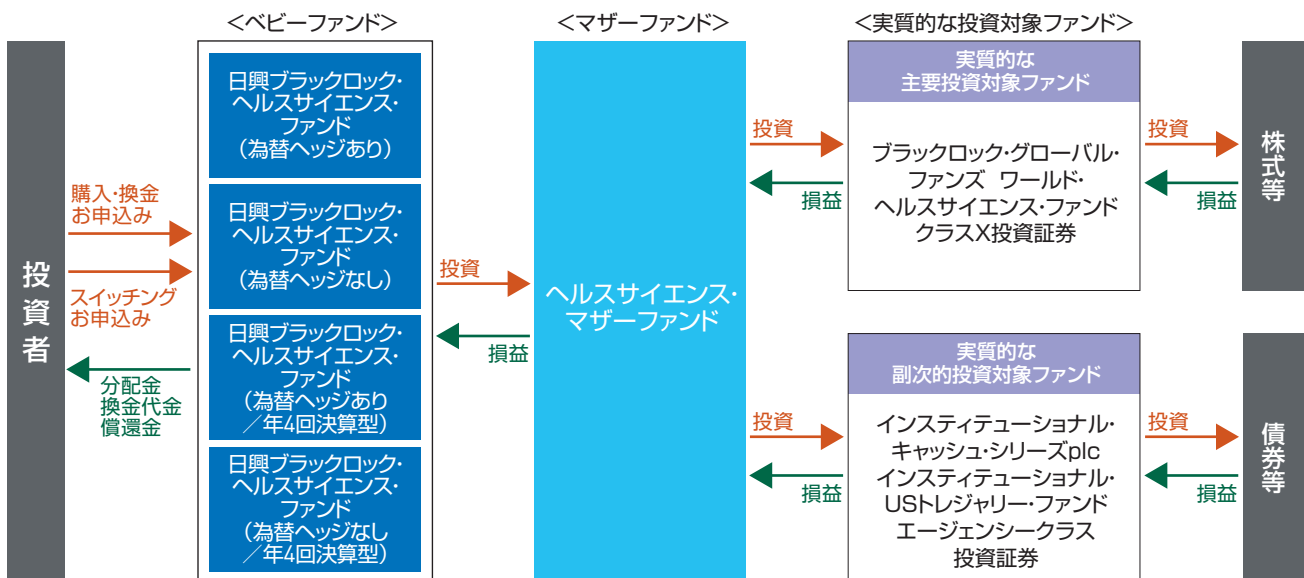
【イメージ図】



※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。  
 ※実質的な主要投資対象ファンドの運用プロセスは変更となる場合があります。

### ファンドの仕組み

当ファンドはヘルスサイエンス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。また、マザーファンドは、投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。



※各ファンド間でスイッチングが可能

## 主な投資制限

- 投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行ないません。
- 投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。
- 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。

## 分配方針

### 「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」

年2回の毎決算時(原則として2月20日および8月20日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行ないます。

- 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行ないます。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行なわないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

### 「為替ヘッジあり／年4回決算型」および「為替ヘッジなし／年4回決算型」

年4回の毎決算時(原則として2月20日、5月20日、8月20日および11月20日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行ないます。

- 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行ないます。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。決算日の基準価額が1万口当たり1万円を超えている場合には、1万円を超える部分について、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行なわないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

## 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

### ■ 株価変動リスク

当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドは、世界の株式に投資します。したがって、世界の経済および株式市場動向または株式の発行会社の経営・財務状況等に応じて組入株式の株価および配当金が変動し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

### ■ 特定業種への投資のリスク

当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドは、医薬品、バイオテクノロジー、医療機器・用品、ヘルスケアサービス等の企業の株式を主要投資対象とします。特定業種への集中投資を行なうため、より広い業種に分散して投資する場合と比較して特定業種の動向の影響を大きく受け、結果として基準価額の値動きが大きくなる可能性があります。

### ■ 為替変動リスク

当ファンドおよびマザーファンドは外貨建資産に投資を行ないません。

「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジあり／年4回決算型」は、為替変動リスクの低減を図ることを目指し、原則として外貨建資産に対して為替ヘッジを行ないませんが、為替変動による影響の全てを回避することはできません。またヘッジ対象通貨の金利が円金利より高い場合、ヘッジコストがかかります。

「為替ヘッジなし」および「為替ヘッジなし／年4回決算型」は、原則として外貨建資産については、為替ヘッジを行ないません。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

### ■ 中小型株式投資のリスク

当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドは、株式市場平均に比べ株式時価総額の小さな企業の株式にも投資することができます。これらの企業の株式への投資は、株式市場の全体の平均に比べて結果としてより大きな値上がりもしくは値下がりとなる可能性があります。これは比較的規模の小さい企業は大規模の企業に比べ収益の変動が大きくなる傾向があることに加え、株式市場における需給関係の変動の影響を受けやすいためです。

### ■ カントリー・リスク

当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドは、世界各国の株式およびエマージング諸国の発行体が発行する株式にも一部投資します。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、株価が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

### ■ 債券投資のリスク

当ファンドの実質的な投資対象ファンドは、債券へも投資を行ないません。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

### ■ デリバティブ取引のリスク

当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドは、先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は現物資産への投資に代わって運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響から当ファンドの投資対象ファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

## その他の留意点

- ◆当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ◆収益分配金に関する留意点
  - ・分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
  - ・分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  - ・投資者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本のことで、投資者毎に異なります。

## リスクの管理体制

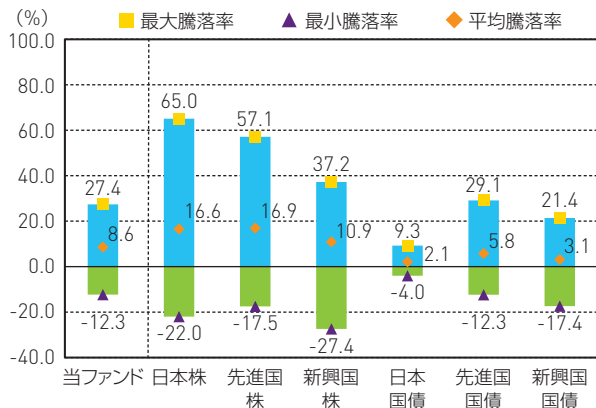
委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行なうことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内の関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

(参考情報)

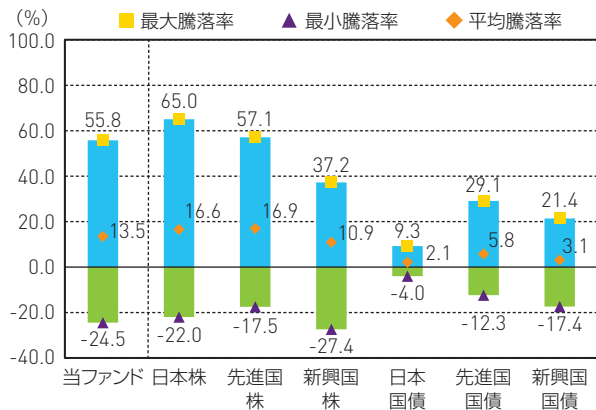
当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2013年9月～2018年8月)

(為替ヘッジあり)



(為替ヘッジなし)



※上記グラフは、2013年9月～2018年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドについては、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。なお、当ファンドの設定日が2013年9月27日のため、当ファンドの騰落率については、2014年9月～2018年8月までの期間について表示したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数(配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

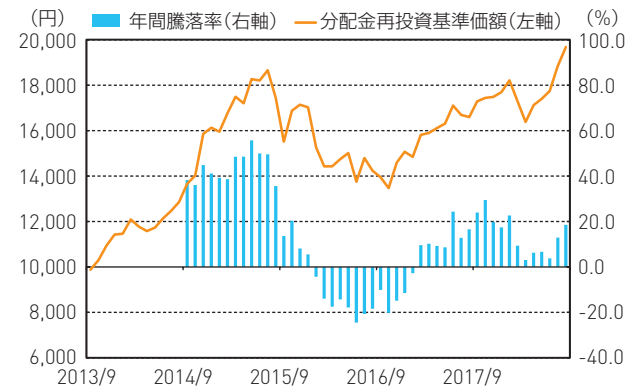
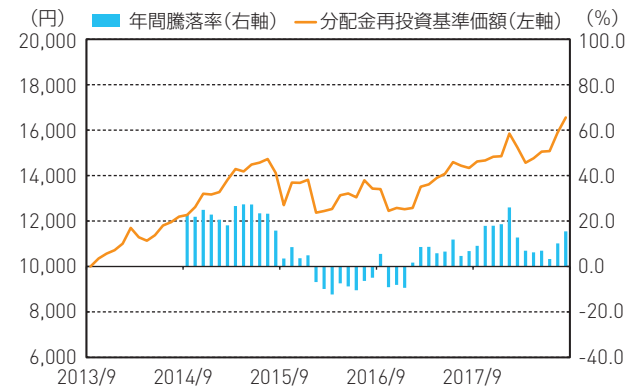
先進国国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国国債…J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしております。

当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

(2013年9月～2018年8月)



※上記グラフは、2013年9月～2018年8月の5年間の各月末における分配金再投資基準価額の1年間の騰落率および分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。なお、当ファンドは設定日が2013年9月27日のため、年間騰落率については、2014年9月～2018年8月までの期間について表示したものです。

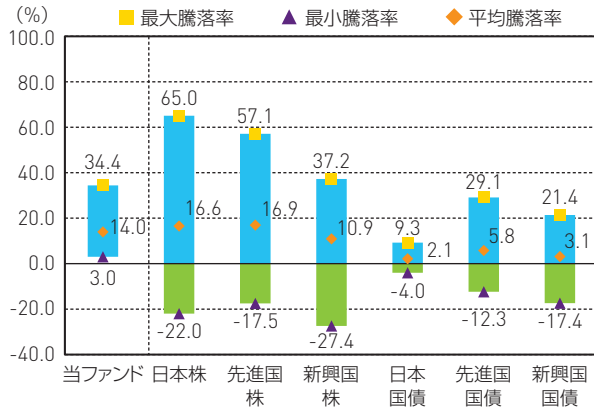
※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

(参考情報)

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

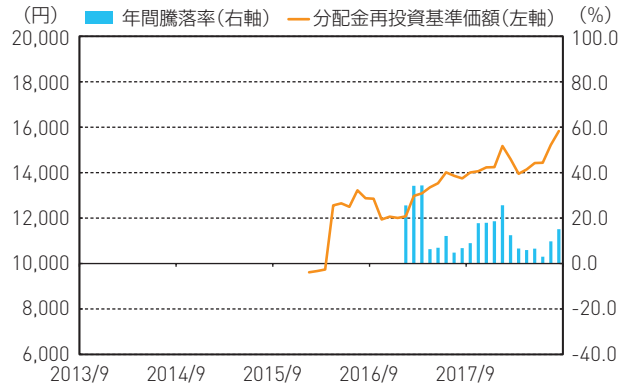
(2013年9月～2018年8月)

(為替ヘッジあり／年4回決算型)

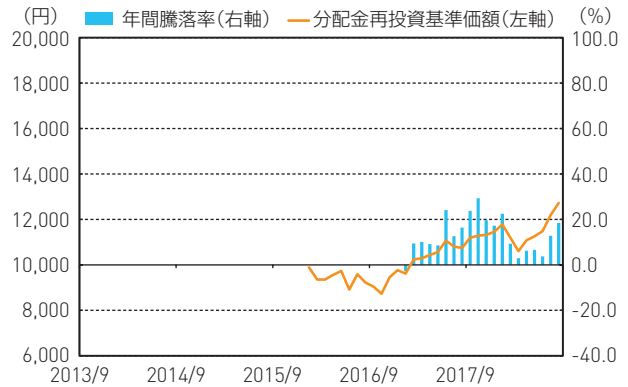
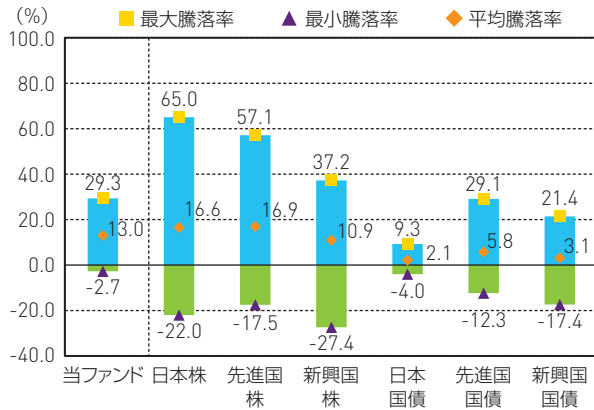


当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

(2013年9月～2018年8月)



(為替ヘッジなし／年4回決算型)



※上記グラフは、2013年9月～2018年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドについては、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。なお、当ファンドの設定日が2016年1月14日のため、当ファンドの騰落率については、2017年1月～2018年8月までの期間について表示したものです。

※上記グラフは、2013年9月～2018年8月の5年間の各月末における分配金再投資基準価額の1年間の騰落率および分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。なお、当ファンドは設定日が2016年1月14日のため、年間騰落率については、2017年1月～2018年8月までの期間について、分配金再投資基準価額は2016年1月～2018年8月までの期間について表示したものです。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数

- 日本株…東証株価指数(配当込み)
  - 先進国株…MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
  - 新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
  - 日本国債…NOMURA-BPI国債
  - 先進国国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
  - 新興国国債…J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)
- (注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしております。

<各指数について>

東証株価指数(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場されている全銘柄を対象に時価総額を指数として算出したものです。東証株価指数(配当込み)は、株式会社東京証券取引所((株)東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。(株)東京証券取引所は、東証株価指数(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、東証株価指数(配当込み)の算出もしくは公表の停止または東証株価指数(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しています。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行なわれるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

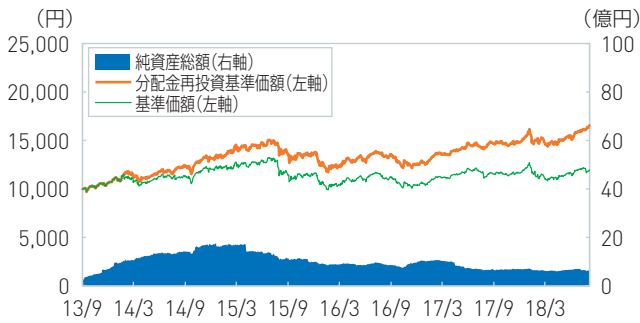
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

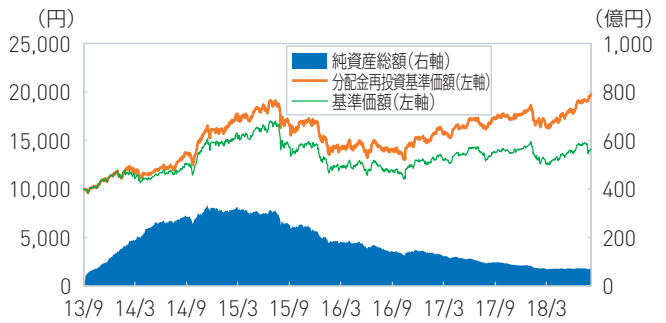


基準価額・純資産の推移

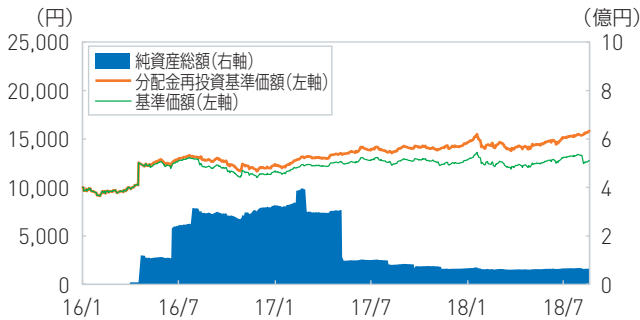
(為替ヘッジあり)



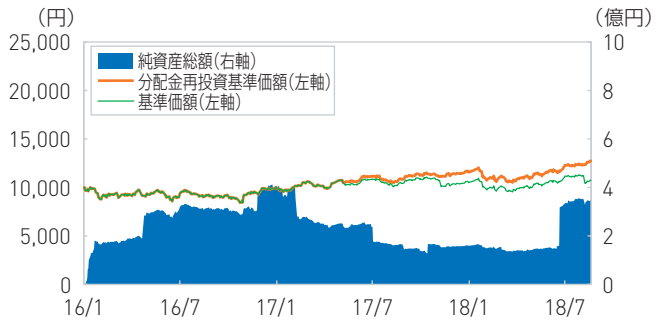
(為替ヘッジなし)



(為替ヘッジあり／年4回決算型)



(為替ヘッジなし／年4回決算型)



※基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬等については、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。  
 ※分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと算出しています。

分配の推移

	第6期 2016年8月	第7期 2017年2月	第8期 2017年8月	第9期 2018年2月	第10期 2018年8月	設定来累計
為替ヘッジあり	200円	100円	500円	500円	500円	3,800円
為替ヘッジなし	200円	300円	500円	500円	1,000円	4,500円

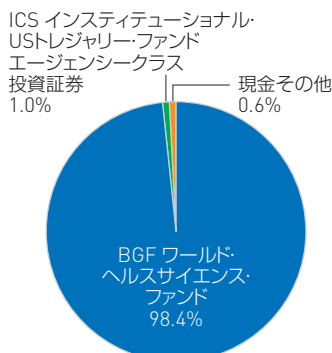
	第6期 2017年8月	第7期 2017年11月	第8期 2018年2月	第9期 2018年5月	第10期 2018年8月	設定来累計
為替ヘッジあり／ 年4回決算型	200円	400円	200円	0円	900円	2,700円
為替ヘッジなし／ 年4回決算型	100円	600円	0円	0円	800円	1,800円

※ 分配金は税引前、1万口当たり

## 主要な資産の状況

※組入上位10銘柄、業種別構成比率は、当ファンドの実質的な主要投資対象ある「BGF ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド」の運用状況です。(2018年8月末時点)

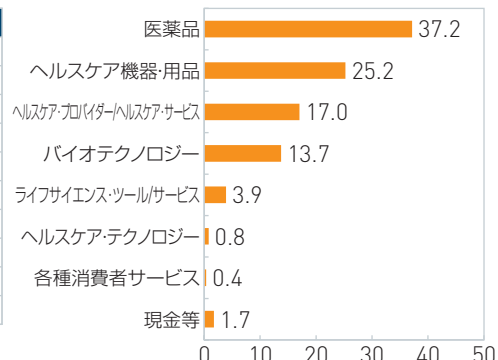
### 資産構成比率



### 組入上位10銘柄\*(%)

順位	銘柄名	比率 (%)
1	ファイザー	5.7
2	ユナイテッドヘルス・グループ	5.4
3	アボット・ラボラトリーズ	4.1
4	メトロニック	4.1
5	ボストン・サイエンティフィック	4.0
6	アストラゼネカ	3.6
7	ジョンソン・エンド・ジョンソン	3.3
8	メルク	3.0
9	サノフィ	2.9
10	ノバルティス	2.6

### 業種別構成比率\*(%)



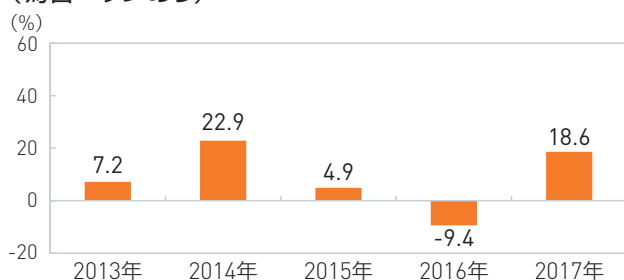
※比率は対純資産総額、マザーファンドベース。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※比率は「BGF ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド」の純資産総額に対する割合。構成比率の(%)の数字は四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

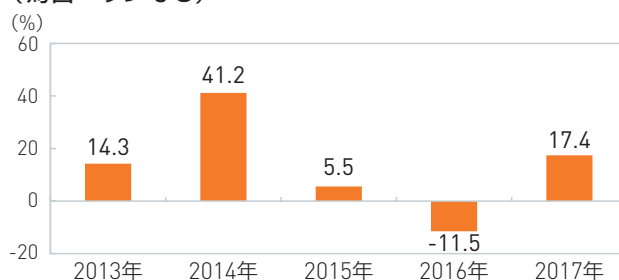
## 年間収益率の推移

- ※ 2013年は「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」については設定日(9月27日)から年末までのファンドの収益率を表示しています。2016年は「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」については年初から年末まで、「為替ヘッジあり/年4回決算型」および「為替ヘッジなし/年4回決算型」については設定日(1月14日)から年末までのファンドの収益率を表示しています。
- ※ ファンドの年間収益率は、決算時の分配金を非課税で再投資したものととして算出しています。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。

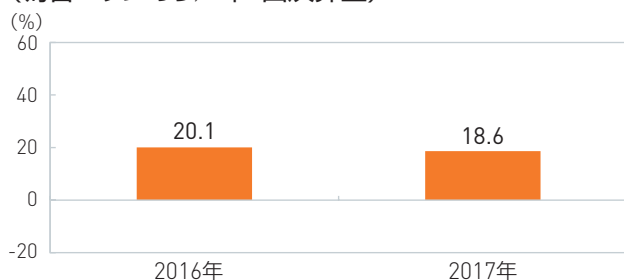
### (為替ヘッジあり)



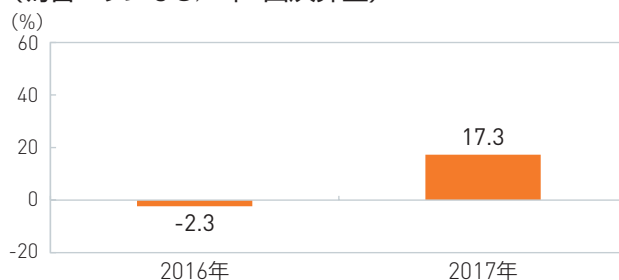
### (為替ヘッジなし)



### (為替ヘッジあり/年4回決算型)



### (為替ヘッジなし/年4回決算型)



※ 運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではありません。  
 ※ ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページにて開示しております。

## 手続・手数料等

### お申込みメモ

購入単位	分配金の受取方法により、＜一般コース＞と＜累積投資コース＞の2つのコースがあります。購入単位および取扱いコースは、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。	
購入価額	購入受付日の翌営業日の基準価額	
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。	
換金単位	換金単位は、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。	
換金価額	換金受付日の翌営業日の基準価額	
換金代金	換金代金は原則として、換金受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。	
申込締切時間	午後3時までに受付けたものを当日のお申込みとします。ただし、受付時間は販売会社により異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。	
購入の申込期間	2018年11月17日から2019年5月17日まで ※期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。	
スイッチング	「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」、「為替ヘッジあり／年4回決算型」または「為替ヘッジなし／年4回決算型」間で無手数料でスイッチングができます。スイッチングによる購入単位については、販売会社にお問い合わせください。	
換金制限	大口の換金の申込には制限があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。	
購入・換金・スイッチング 申込受付不可日	ルクセンブルクの銀行の休業日、12月24日、その他実質的な主要投資対象ファンドの受付不可日のいずれかに該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入・換金・スイッチングは受けません。	
購入・換金・スイッチング 申込受付の中止および 取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングの受付を中止・取消しする場合があります。	
信託期間	2023年9月26日まで	
	為替ヘッジあり 為替ヘッジなし	2013年9月27日 設定
	為替ヘッジあり／年4回決算型 為替ヘッジなし／年4回決算型	2016年1月14日 設定
繰上償還	ファンドは、換金により各ファンドの受益権の口数が20億口を下回ることとなった場合、またはファンドを償還させることが投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間の途中でも信託を終了（繰上償還）させる場合があります。	
決算日	為替ヘッジあり 為替ヘッジなし	2月20日および8月20日 (ただし休業日の場合は翌営業日)
	為替ヘッジあり／年4回決算型 為替ヘッジなし／年4回決算型	2月20日、5月20日、8月20日、11月20日 (ただし休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 ＜累積投資コース＞を選択された場合の収益分配金は、税引き後自動的に無手数料で再投資されます。	

<p><b>信託金の限度額</b></p>	<p>信託金の限度額は、「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」または「為替ヘッジあり／年4回決算型」と「為替ヘッジなし／年4回決算型」それぞれの合計で1,000億円とします。                  ※当ファンドの運用戦略に適した運用規模・運用効率を勘案し、市場環境や資金流入の動向に応じて信託金の限度額を下回る段階で購入申込の受付を停止する場合があります。</p>
<p><b>公告</b></p>	<p>投資者に対してする公告は、電子公告により次のアドレスに掲載します。  <a href="http://www.blackrock.com/jp/">www.blackrock.com/jp/</a></p>
<p><b>運用報告書</b></p>	<p><b>「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」</b>                  毎決算時および償還時に、委託会社が期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「交付運用報告書」を作成し、ご購入いただいた販売会社からあらかじめお申し出いただいた方法にて知れている受益者にお届けいたします。</p> <p><b>「為替ヘッジあり／年4回決算型」および「為替ヘッジなし／年4回決算型」</b>                  毎年2月および8月の決算時および償還時に、委託会社が期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「交付運用報告書」を作成し、ご購入いただいた販売会社からあらかじめお申し出いただいた方法にて知れている受益者にお届けいたします。</p>
<p><b>課税関係</b></p>	<p>課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除または益金不算入制度の適用はありません。</p>

## ファンドの費用・税金

### ■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		(各費用の詳細)	
購入時手数料	購入受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.24%(税抜3.00%)</b> を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額。 詳細は販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングによる申込および収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。	購入時の商品説明、販売に関する事務手続き等の対価	
信託財産留保額	ありません。	—	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		(各費用の詳細)	
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対して <b>年1.7604%(税抜1.63%)</b> の率を乗じて得た額 ※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※実質的な主要投資対象ファンドに係る報酬相当額は、委託会社の報酬より支払われます。	運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率	
運用管理費用の配分	(委託会社)	年0.8640%(税抜0.80%)	ファンドの運用、基準価額の計算、運用報告書等各種書類の作成等の対価
	(販売会社)	年0.8640%(税抜0.80%)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
	(受託会社)	年0.0324%(税抜0.03%)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他の費用・手数料	目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、ファンドの純資産総額の年0.108%(税抜0.10%)を上限として、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払うことができます。 ファンドの諸経費、外貨建資産の保管費用等について、その都度、ファンドから支払われます。 また、実質的な主要投資対象ファンドに係る保管報酬および事務処理に要する諸費用等並びに副次的投資対象ファンドの報酬等が別途投資対象ファンドから支払われます。 ※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ファンドの諸経費：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息等</li> <li>•外貨建資産の保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用</li> </ul>	

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。  
※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。

### ■ 税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税されます。 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税されます。 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合  
NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。非課税の対象となる金額、期間等を含めて詳しくは販売会社にお問い合わせください。  
※法人の場合は上記とは異なります。  
※上記は2018年8月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 追加的記載事項

以下は、当ファンドが実質的に主要投資対象とするヘルスサイエンス関連株式に関する経済状況や市場環境等を投資者の皆様によりご理解いただく目的で記載したものです。以下に示すデータ等は過去のものであり、またコメントは作成日現在のブラックロック・ジャパンの見解であり、これらは今後の運用成果を保証・約束するものではありません。

### 当ファンドが投資対象とする主な業種グループ

#### 医薬品

医薬品の研究・開発・製造を行なう企業等（獣医用医薬品、化学を含む。）



#### バイオテクノロジー

遺伝子分析および遺伝子工学に基づいた製品の研究、開発、製造、販売を主に行なう企業等



#### 医療機器・用品

医療機器および装置の製造企業等（医療用器具、薬物送達システム、心血管装置、矯正装置、診断装置を含む。）



#### ヘルスケアサービス

ヘルスケア製品の販売および卸売り。ヘルスケアサービスの提供を行なう企業等（ヘルスケア施設の運営を含む。）

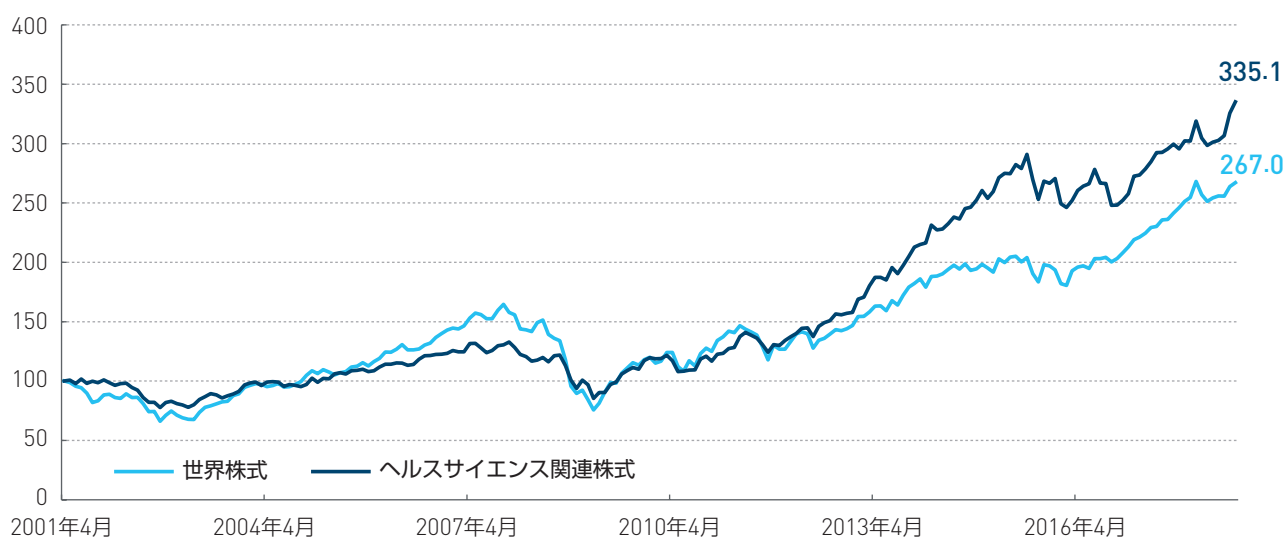


※上記は実質的な主要投資対象ファンドが投資対象とする主な業種についての説明であり、上記以外の業種の企業の株式に投資する場合があります。

### ヘルスサイエンス関連株式の特徴

- ヘルスサイエンス関連株式は、過去の株式市場の下落局面では、世界株式よりも下落率が小幅となる傾向が見受けられます。

ヘルスサイエンス関連株式と世界株式の値動きの推移(米ドルベース)



2001年4月末～2018年8月末(月次) 出所: Bloombergのデータに基づきブラックロック・ジャパン作成。

※上記のグラフは、2001年4月末を100として指数化しています。

※世界株式はMSCIワールド・インデックス、ヘルスサイエンス関連株式はMSCIワールド・ヘルスケア・インデックスを使用しています（それぞれ配当込み指数）。

※上記は過去のデータに基づき世界株式、ヘルスサイエンス関連株式の値動きの傾向を示すために記載したものであり、当ファンドの運用成果を示すものではなく、将来の運用実績を保証するものではありません。また、経済情勢の変化等により上記のような関係は今後変化する可能性があります。

※MSCIワールド・インデックスおよびMSCIワールド・ヘルスケア・インデックスは、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 実質的な主要投資対象ファンドの概要

ファンド名	ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド
形態	ルクセンブルグ籍(オープン・エンド型)会社型外国投資証券(米ドル建て)
投資目的および投資態度	トータル・リターンを最大化することを目指します。ファンドは、少なくともその純資産の70%を世界各国のヘルスケア、医薬品、医療機器、医療用品およびバイオテクノロジー開発を主要業務とする企業の株式に投資します。通貨エクスポージャーについては柔軟に運用します。
設定日	2001年4月6日
管理会社	ブラックロック(ルクセンブルグ) エス・エー
投資顧問会社	ブラックロック・インベストメント・マネジメント・エル・エル・シー ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド

## 実質的な主要投資対象ファンドの運用チーム

- 実質的な主要投資対象ファンドの運用チーム(ヘルスサイエンスチーム)は、医療・バイオテクノロジー関連の専門的なバックグラウンドのあるメンバーを中心に構成されています。株式の分析のみならず、専門的な知識を活かして新薬・バイオテクノロジー技術の適正価値を評価するなど、徹底した調査活動を行なっております。
- なお、ヘルスサイエンスチームの拠点である米国ボストンは、医療・バイオテクノロジーの最先端である米国の中でも特に研究所が多く存在し、ヘルスサイエンス分野において重要な役割を果たしている地域の一つとして考えられています。

※実質的な主要投資対象ファンドおよびその運用チームは変更となる場合があります。

## ブラックロック・グループについて

- ブラックロック・グループは、運用資産残高約6.30兆ドル\* (約698兆円)を持つ世界最大級の独立系資産運用グループであり、当社はその日本法人です。
- 当グループは、世界各国の機関投資家および個人投資家のため、株式、債券、キャッシュ・マネジメントおよびオルタナティブ商品といった様々な資産クラスの運用を行なっております。また、機関投資家向けに、リスクマネジメント、投資システム・アウトソーシングおよびファイナンシャル・アドバイザー・サービスの提供を行なっております。

\*2018年6月末現在(円換算レートは1ドル=110.765円を使用)



【ニューヨークのグループ本社】

